

がんばりまっしょい



小規模通所授産施設↓

新体系移行へ

四月末に、川崎市に新体系への移行希望を提出しました。今後「小規模通所授産施設」はなくなりまします。このままというわけにはいきません。ただし三年間は経過措置として、現状維持も可能なため、動向を見守り動かないほうが得策か？という施設もあります。はぐるまは、今年の十月の切り替え時に移行を希望します。「花ハウス」の喫茶室をもつと効率よく運営するためにも作業所の再編成

をします。新体系への移行と平行して考えていけるのではないかと思っています。

作業所の補助金は今年度も削減され、常に不安定な立場である小規模からの脱出を図りたいわけです。具体的には、仲間の現状から、就労継続支援（非雇用型・雇用型）生活介護の多機能ができれば・と検討中

しかし①

そんなに容易くない仕組みがあるよう。で……まず是一般の法人が優先されるような気配を匂わせています。そんなことにくじけず・めげず川崎市の関係者と協議してきました。今でも仲間たち一人に対しての補助額は一般法人の1/5と言われている中、なかなかこの格差は縮まりません。今後も話し合いを重ねます。小規模にも安定した基盤をめざして！

しかし②

もし移行できた場合

NO.20

2006年 5月12日

社会福祉法人

はぐるまの会

広報委員会

後援会

ホームと合わせ、作業所にも一割負担が生じます……
「働く場所に利用料を払う」という、とんでもないことが起きるのです。これについては、仲間の所得保障のあり方や、今後の運動の最大の課題でしょう。

仲間会では代表者が、「きょうされん」の仲間と共に、県の担当者との懇談会に参加し、「負担が重くなり、自立した生活ができなくなるようなことは、しないで下さい」という訴えをしました。
それでも地道にめざそう

ゆめに向かって！

さて 進むにあたって、皆さんのご意見をいただいたアンケート・ご協力ありがとうございました。今後の計画の参考にしていきます。この集計は作業所若手職員（別名わかばの会・あるいはホープ会）がひとつひとつ皆さんの気持ちを噛みしめながら整理をしました。作業の過程は良い研修になったことでしょう。

《次のページ掲載》

（全部を掲載できませんでしたすみません）

日中活動の場はこうしたらいいのでは？

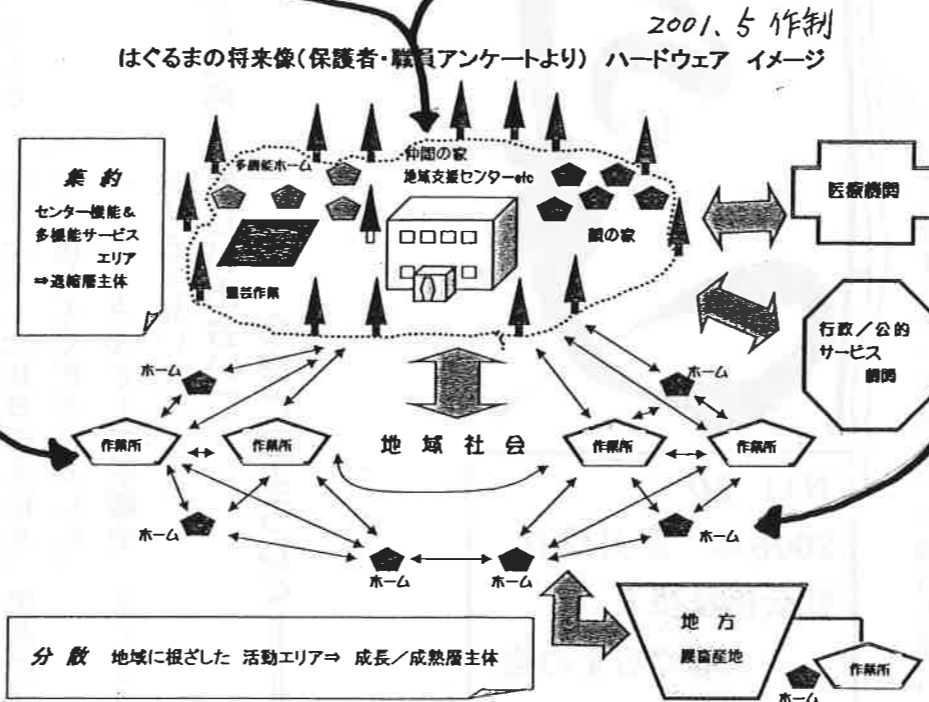
- インターネット活用・駅前販売等をして、授産増進の工夫をする
- 他企業と協力体制をとり、安定した収入を得る
- 地域の障害者や高齢者と共に、社会貢献ができる事業をする
- 畑を持続的で安定した労働にして、収益もあげる
- 仲間の特性・身体状況に応じた販売活動の工夫
- 就労に挑戦できる仲間の支援ができる作業所を作る
- 高齢化に向けた授産種目や、縫製だけでなく今まで身に付けてきた力が発揮できる仕事の発掘をする
- 保健室があればいい
- 通勤補助のマイクロバスがあればいい
- 文化・芸術面を仕事の時間に組み入れる（音楽、ダンス、絵画）
- 行事が多すぎるので、縮小し穏やかな時の流れに変えていく
- 仲間のお店を作り、自主製品、野菜を売り収益を増加させる
- 仲間の健康面、高齢化の実態を見直した集団再編成を行う

地域交流

- 他の施設・団体との交流
 - ・ 地域に住んでいる障害者、高齢者との連携づくり
 - ・ 障害児の放課後受け入れや、発達研究の成果を幼年期、少年期の児童に還元していける連携システムを作りたい
- 社会に向けてもっとアピールできることをする（展覧会、美術展、作品展等）
- 「はぐるまといえば〇〇」という特徴を出した活動の展開

仲間の家・センターってこんなところ

- はぐるまの会のセンター機能を担うみんなの集まれる憩いの場
- 大ホール・会議室・休憩室・大きなお風呂がある
- サークル活動（映画・ダンス・カラオケ・調理等）ができる
- 仲間全員で仕事や生活ができる
- 仲間会、親の会、職員会ができ、パーティ等がいつでもできる
- 畑があり、野菜を作って売ることができる。
- 喫茶店があり、クッキーやケーキを仲間が焼く



ホームってこうあってほしい

- 仲間と共に一生暮らせるための環境・体制が整っている
 - ・ 個室でゆったり過ごせる
 - ・ 職員の入れ代わりが少なく、安定した生活ができる
 - ・ 高齢化に向けた住環境整備（急階段や段差解消）食事管理
 - ・ 病気時の対応が即可能な体制
 - ・ 作業場に近く、通勤しやすい場所にある
- 自立した生活で、ゆったりとリラックスできる（係仕事の軽減）
- 地域の理解と協力を得て、近隣の方と仲良くし、安定した地域生活が営める
- 24時間職員常駐。日中も雑事をしてくれる職員がいる（布団干し・洗濯しまい等）
- 7ヶ所のホームを1ヶ所にして、みんなで住みたい
- 自立度の高い仲間の独身寮が欲しい
- 支援についての学習を積み、職員の支援方法が統一している
- 他ホームとの交流促進（はぐるま内・外含む）
- 大きな地震にも耐えられるホーム

心配・不安・不満

親として

- 親が病気や、いなくなった時、子供の衣食住を全面的に施設に任せてよいのか。
- 後見人制度の利用について、具体的に検討していきたい
- 生活できるうちはホームで、将来は更生入所等の施設も検討中
- 自立支援法による自己負担増で、将来の見通しがたたない
- 作業所とホームの距離がありすぎる

職員として

- 今後職員として働き続けられるか？家族を支えるだけの経済・時間外勤務の多さ等から、今後の生活への不安がある
- 作業所・ホーム・保護者との情報の共有化が弱い
- 施設では日々忙しすぎて、将来のイメージがわからない
- 休日・祝日出勤が増えているが、休日の保障がほしい
- 職員も高齢化しており、今後いつまで続けられるか（特にベテラン職員の高齢化）
- やりがいのある仕事だが、誰にでもできる仕事ではない。集団自立の取り組みに加え、専門的な知識、技術、実践力が必要

仲間から→職員へ

- 仕事を見て欲しい
- 仲間ともっと話をして欲しい
- やさしくして欲しい
- 職員会議で決まった事は、ホーム・作業所で共通して支援してほしい（作業所職員とホーム職員の言う事が違う場合がよくある）
- プリントなどの期日はきちんと守って欲しい
- 職員がいない場所がほしい

これからのはぐるまの課題

- 医療機関との密接な連携（特徴やこだわりなどのカルテがあり、受入れが柔軟）
- 身体的変化が大きい仲間に対し、作業療法士と総合的に取り組む
- 経済的基盤が弱いので、後援会と共に目標達成にむけての資金作りを推進する
- 営利法人立上げ（例：介護事業、弁当事業）
- 作業所、ホームでの経費削減の徹底
- 花ハウスで独自の展開を考え、収益を上げる
- 保護者、作業所、ホーム、支援センターでパソコンを導入し、情報をもれなく共有しあえるようにする
- 職員の専門性向上のため、内部の学習会や外部への研修を充実させる
- 職員体制の整備。部会を作り職員の役割を明確にしていく（営業部・運動部・指導部等）

仲間の希望の仕事は？

配達をしたい
ミシンがしたい
畑仕事がしたい
袋物を作りたい
フキンをたくさん作りたい

ゆる人

くる人

はぐるまは元気な仲間たちが主体であることはもちろん、職員も、仲間と共に成長・発達することに喜びを感じ、共に歩んでいるという思いに支えられているのかも知れません。様々な思いを引き継ぎます。

いままで

ありがとう

《山本 糸子さん》



第2ホーム責任者 勤続十五年

はぐるまの先駆者と共に、土台を築いていただきました。長い間ご苦労さまでした。仲間の話になると言葉が溢れ一人ひとりよく知っている、もしかしたら、おやごさんより詳しいかも。そして はぐるまを語らせたら天下一品です。

ひとまず職を退きますが、協力者として何かと御世話になることもあるでしょう、そんな時はまたよろしく！

《木下 章子さん》

第2作業所職員

仲間と共にあゆみ、寄り添ってきた姿に感銘を受けていました。

長年共にはたらいてきた同士がいなくなるのは、寂しいことですが、新転地での活躍を応援しています。元気な仲間たちのことが懐しく感じたら、いつでも顔を見せて下さい。待っています！

《市川 祐子さん》

法人本部 会計

有能な会計担当だっただけに残念です。仲間とはあまり付き合いはありませんでしたが、第一作業所とみどりホームの男性人のマドンナでした。ちまたでは、「ハキダメ二つる」なんて声もあつたようで・・・

おめでた退職なので、幸せをお祈りいたします。元気なお子さんを！

《西須 澄江さん》

いずみホーム 土日曜日

土日という大変な時間に仲間の食事や、生活支援をしていただけていました。

皆さんと触れ合う時間が少なかつたですがゆつたりした休日の生活を、気長に我慢強く支援してくださいました。

ヘルパーさんとして活躍中。またどこかで合えると思います。

新しい出会い

今後ともよろしく

《中村 義一さん》

第一ホーム 職員

みどりホームも兼任することになります。三泊と土曜日の日中支援と、ホームの生活を支える貴重な人力。ゆつたりと仲間と接し、すでに馴染んで生活をしていただいています。フリーのカメラマンの多彩な経験を生かした新風を期待します。

《西岡 二美子 さん》

日曜日 日中支援

ヘルパーさんの資格を、仲間たちにも生かしていただき、休日の過ごし方、余暇活動に力をかしていただきます。

一日だけなのでたくさん仲間と接する機会が少ないのですが、ホリデイ活動のときに会えるでしょう。

《小山 晴子 さん》

法人本部 会計

市川さんの後を引き継ぎます。法人の会計は沢山の事務処理をこなさなければなりません。入って早々即戦力！頼もしい存在です。ベテランの大加田さんの、右腕になるのもすぐでしょう。